

提言の全体イメージ

－わかりやすい案内標識の体系確立へ向けて－

I. 案内標識の3つの理念

1. ユーザー重視、顧客志向
2. システム・体系性の充実
3. 標識のマネジメント



II. 自動車系案内の方向性

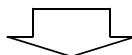
1. 路線番号案内の充実
 - 1) 一般幹線道路のルート番号表示
交差点における交差路線番号表示
 - 2) 高速道路のナンバリングとその表示
系統的な付番導入とその表示
分岐点における方角表示の検討
有料道路・無料道路の識別性の確保
 - 3) 混乱要因の除去
バイパス及び重複路線のわかりやすい表示
2. 地名案内の信頼性向上
 - 1) 表示ルール of 徹底（乱れの点検と是正）
 - 2) ユーザーに対する周知
 - 3) 色分けによる識別性向上
3. 現在位置の同定性の向上
 - 1) 主要交差点名の表示の充実
 - 2) 地点標（キロポスト）の活用
 - 3) 「地域」の同定性の確保

III. 歩行者系

（第4回）

IV. 新たな課題への対応

1. 観光客・外国人への対応
 - 1) 英語表記
統一性のある表記の徹底
 - 2) ピクトグラム
ルールに基づいた表示
2. 他メディアとの協力関係の構築
他メディアとの連携強化と適切な役割分担、データベースの構築と共有化
3. 景観・視環境に対する配慮
必要最小限の表示、景観に配慮した標識柱の色彩の検討



V. 標識マネジメントシステム

（第4回）